

労働組合の原則を守ることが勝利の道

88集会の成功にむけて
シリーズ5

日刊
労働千葉

83. 8. 1

No. 1405

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七

~~~~~

## いまこそ分離独立の教訓を我がまじりに！

八月八日のパイプライン供用開始をもって、五年有余にわたったジェット燃料貨車輸送は終了します。  
労働千葉の三里塚闘争が新たな段階を迎えるにあたり、全組合員が四年前の分離独立の正義と勝利、そしてその教訓をわがものと、三里塚闘争の勝利にむけてさらに闘いぬいていこうではありませんか。

~~~~~

三里塚闘争の正義性ゆえに

一線を画した動労「本部」革マル

一九七九年三月、動労千葉は、動労「本部」革マルとのすさまじい組織争闘戦に勝利し、分離独立を勝ちとりました。

動労千葉はなぜ分離独立したのでしょいか。

動労「本部」革マルは、一九七八年の津山全国大会において、今日の産報化運動「働こう運動」のさがけとなる「貨物安定輸送宣言」や、革マル派の運動である「水本デマ運動」をもちこむとともに、「三里塚と一線を画す」なる反動方針を動労千葉をはじめ、全国の多くの代議員の反対を暴力で押しきって強行決定しました。

これは、「今後、反対同盟農民とは同席しても統制処分」という、三里塚闘争への敵対宣言であり、動労千葉への組織破壊と三里塚闘争の解体を狙った文字通り反階級の方針であります。

そもそも、反対同盟農民を「権力のスパイ」といいなし、三里塚闘争を「権力の演出」とののしり、三里塚闘争に一貫して妨害敵対をくりかえしてきた動労「本部」革マルにしてはじめて強行しうる、前代未聞の反階級の方針であり、ファッショ的やり方であります。

四年後、見事に証明された

動労千葉分離独立の正しさ

この方針をめぐり、動労千葉の全組合員は真剣な討論を行いました。

その結果、全国の住民闘争が結集する反戦・反核の砦、三里塚闘争こそ、日帝の戦争へむけた反動攻勢を阻み、労働者の勝利を展望できる正義の闘いであり、われわれは、権力と血を流して闘う農民を決して裏切ることできないという、まったく正しい路線を選択したのです。

これに対し、動労「本部」革マルは、直ちに統制処分を行い、全国の革マル分子を先頭に動労千葉破壊の集団暴力オルグにうってでました。わが動労千葉は、自らの組織と三里塚闘争の勝

利にかけて、動労「本部」革マルの凶暴な襲撃に幾多の血を流しつつもこれを撃退し、ついに分離独立を勝ちとったのです。

四年後の今日、当局の尖兵として次々と労働者を裏切り、すべての労働者の弾効にさらされている動労「本部」革マルの姿をみた時、分離独立の正しさを圧倒的に確認することができます。

動労千葉一三〇〇組合員は、いかなる状況においても労働者、労働組合の原点を忘れずに闘うならば、必ず勝利することを学びました。

われわれは、三里塚・反合を闘う労働運動路線のさらなる強化により、国鉄労働運動破壊攻撃を打ち破る決意を打ち固めるべく、8・8集会の圧倒的な大成功を勝ちとるうではありませんか。



労働千葉の正義の分離独立に恐怖した動労「本部」は、連日数百名で暴力的な職場破壊におしかけた。（600名の「本部」の襲撃から新小岩支部結成大会を防衛する組合員。1979年4月21日）

8.8へ

全力で結集しよう

8・8パイプライン供用開始粉碎、

二期阻止、空港廃港、

総決起集会

8月8日、10時、千葉市みなと公園

主催 空港反対同盟・動労千葉